

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成20年7月24日(2008.7.24)

【公開番号】特開2002-343815(P2002-343815A)

【公開日】平成14年11月29日(2002.11.29)

【出願番号】特願2001-145397(P2001-145397)

【国際特許分類】

H 01 L 21/52 (2006.01)

【F I】

H 01 L 21/52 F

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月17日(2008.3.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ダイ取り出し位置から取り出したダイを、前記ダイ取り出し位置とは異なる高さ位置に設定されたボンディング位置でボンディングするダイボンディング装置において、

前記ダイ取り出し位置と前記ボンディング位置との高低差に応じて傾斜配置されたガイドと、

このガイドに沿って駆動可能に設けられたスライドテーブルと、

このスライドテーブルを前記ガイドに沿って前記ダイ取り出し位置と前記ボンディング位置との間で移動させる移動手段と、

前記スライドテーブルに上下方向に駆動可能に設けられ前記ダイ取り出し位置で取り出したダイを前記ボンディング位置でボンディングする保持手段と

を具備したことを特徴とするダイボンディング装置。

【請求項2】

前記ダイ取り出し位置は前記ボンディング位置よりも低いことを特徴とする請求項1記載のダイボンディング装置。

【請求項3】

前記保持手段は、前記スライドテーブルに対しボンディング方向とは反対方向に弾性的に付勢状態で支持され、

前記ボンディング位置にはリニアアクチュエータが固定配置されていて、

前記スライドテーブルの移動によってボンディング位置に位置付けられた前記保持手段が、前記リニアアクチュエータにより前記付勢に抗してボンディング方向に移動させられることを特徴とする請求項1記載のダイボンディング装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

【課題を解決するための手段】

本発明は、ダイ取り出し位置から取り出したダイを、前記ダイ取り出し位置とは異なる高さ位置に設定されたボンディング位置でボンディングするダイボンディング装置におい

て、

前記ダイ取り出し位置と前記ボンディング位置との高低差に応じて傾斜配置されたガイドと、

このガイドに沿って駆動可能に設けられたスライドテーブルと、

このスライドテーブルを前記ガイドに沿って前記ダイ取り出し位置と前記ボンディング位置との間で移動させる移動手段と、

前記スライドテーブルに上下方向に駆動可能に設けられ前記ダイ取り出し位置で取り出したダイを前記ボンディング位置でボンディングする保持手段と

を具備したことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

【作用】

本発明によれば、保持手段は、ダイ取り出し位置とボンディング位置との間を、両位置の高低差に応じた傾斜角度で配置されたガイドに沿って移動するとともに、ダイ取り出し位置並びにボンディング位置において上下方向に駆動される。